

[参考] 先月からの主要変更点

	7月月例	8月月例
基調判断	<p>景気は、企業部門の改善が家計部門に広がり、堅調に回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出は増加し、生産も増加している。</li> <li>・企業収益は大幅に改善し、設備投資は増加している。</li> <li>・個人消費は、緩やかに増加している。</li> <li>・雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善が進んでいる。</li> </ul> <p>先行きについては、世界経済が回復し、国内民間需要が着実に増加していることから、景気回復が続くと見込まれる。一方、世界的な金利動向等が経済に与える影響には留意する必要がある。</p>	<p>景気は、企業部門の改善が家計部門に広がり、堅調に回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・輸出は増加し、生産も増加している。</li> <li>・企業収益は大幅に改善し、設備投資は増加している。</li> <li>・個人消費は、緩やかに増加している。</li> <li>・雇用情勢は、厳しさが残るものの、改善が進んでいる。</li> </ul> <p>先行きについては、世界経済が回復し、国内民間需要が着実に増加していることから、景気回復が続くと見込まれる。一方、<u>原油価格や世界的な金利の動向等</u>が経済に与える影響には留意する必要がある。</p>
政策態度	<p>政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004」の早期具体化により、構造改革の取組を加速・拡大する。</p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行うとともに、集中調整期間終了後におけるデフレからの脱却を確実なものとするため、政策努力を更に強化する。</p>	<p>政府は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針 2004」の早期具体化により、構造改革の取組を加速・拡大する。</p> <p><u>平成 17 年度予算編成に当たっては、財政規律確立への姿勢の明確化、予算のメリハリの強化及び国民への説明責任を重視し、構造改革をさらに進める。</u></p> <p>政府は、日本銀行と一体となって、金融・資本市場の安定を目指し、引き続き強力かつ総合的な取組を行うとともに、集中調整期間終了後におけるデフレからの脱却を確実なものとするため、政策努力を更に強化する。</p>

各論

	7月月例	8月月例
輸入	<u>横ばいとなっている。</u>	<u>緩やかに増加している。</u>
貿易・サービス 収支の黒字	<u>横ばいとなっている。</u>	<u>やや増加している。</u>
国内企業物価	<u>わずかながら上昇している。</u>	上昇している。

(注) 下線部は、先月から変更した部分。